



平成22年度の活動について

4月24日 芝ざくら祭り時シャトルバス試験運行

バス3台、4便運行し、計87人の利用がありました。(当日推定来場者数8,900人)
使用した道路は狭隘な生活道路のため、通行が公知になると、新たな渋滞の発生につながり、付近住民の交通の妨げになってしまうことから、新たな渋滞緩和策を検討することとなりました。

6月3日 第1回協議会

平成22年度の事業計画について協議し、駅の視察、利用環境整備の検討、公共交通おでかけマップの作成について、決定しました。

11月18日～11月30日 駅視察の実施

地域住民、交通事業者、行政が、鉄道・バス等の連携策について、実際に駅を視察し、意見交換することにより、問題点や課題の共通認識を図ることを目的として実施しました。

《宝積寺駅西口》



＜高根沢町の視察結果＞

高根沢町グループは、宝積寺駅を視察しました。
宝積寺駅では、駅全体がデザイン性を重視していて必要以上の張り紙等をしないことになっており、情報量について、意見が分かれました。

《東野交通「真岡駅前」停留所》



＜真岡市の視察結果＞

真岡市グループは、真岡鉄道真岡駅を視察しました。
真岡駅では、構内の売店で、市内及び鉄道沿線の観光情報、バス案内も含めて案内していました。観光目的で真岡駅で降りる人は、レンタサイクルを利用している人が多いようです。

《「橋場」停留所》



＜芳賀町の視察結果＞

芳賀町グループは、路線バスや隣接市町とのデマンド交通との乗り継ぎ場所を視察しましたが、市町境での待合所の場所の確保は困難なことが分かりました。

「橋場」停留所のように、路線バスの他の停留所も、乗降者数の多い所は、屋根付き乗り場があるとよいという意見がありました。

11月18日～11月30日 駅視察の実施

＜市貝町の視察結果＞

市貝町グループは、公共交通（真岡鐵道市埴駅、笹原田駅、町営バス）、観光地（芝ざくら公園、大畑武者絵資料館）を視察しました。

芝ざくら公園、大畑武者絵資料館とも、マイカー以外に交通手段がない状況ですが、交流人口を増やすためには、駅と観光施設のつなぎ方を検討する必要があるという意見がありました。

＜茂木町の視察結果＞

茂木町グループは、真岡鐵道茂木駅を視察しました。

地元で普段不便を感じない駅について、初めて駅を利用する立場に立つと、目的地の場所や公共交通での移動方法等が分からず、不安であることが確認できたので、改善を検討したいという意見がありました。

＜鹿沼市の視察結果＞

鹿沼市グループは、東武鐵道新鹿沼駅を視察しました。

ホーム内のエレベーターの完成により、バリアフリー化が進んだが、観光案内、バス案内が不十分で、駅を起点に公共交通を利用しやすくする工夫が必要であるという意見や、自転車と電車の乗り継ぎという観点から、レンタサイクルのようなものを整備してもよいのではという意見がありました。

＜市埴駅＞



＜茂木駅＞



＜新設置のエレベーター＞



＜新鹿沼駅＞



公共交通おでかけマップの更新

県央地域における公共交通について、利便性向上策や不便地域の解消策をまとめ、相互の連携状況を示すことで、より利用促進を図ることを目的として、作成しました。

各市町の窓口や観光案内所で配布するほか、各市町のホームページでも掲載しています。

＜おでかけマップ（連携図）＞

